

参加型スポーツイベントの満足度が参加者の幸福感に与える影響

白井 脩生 (競技スポーツ学科 スポーツビジネスコース)

指導教員 吉田 政幸

キーワード：幸福感，ウォーキングイベント，イベント満足度

1. 緒言

身体的，精神的，社会的な効果のあるスポーツと，それらの影響を受ける幸福感との間には，何らかの関係性があると考えられる (榎本，2000)．本研究の目的は，参加型スポーツイベントの参加者の幸福感に対して，イベント満足度がどのような影響を与えているのか明らかにすることである．本研究でスポーツが幸福感に与える影響を明らかにすることは，スポーツの価値を一層高めるものとして期待される．

2. 研究方法

本研究では，大津市で行われた「おごと温泉びわこパノラマウォーク」の参加者を対象に，二種類の調査を行った．アンケート調査は，便宜的抽出を用いて 293 票を配布し，289 票回収した．そして重回帰分析を行い，生活領域満足度 6 要因とイベント満足度が幸福感にどのような影響を与えているか検証した．アンケート結果の根拠資料を得る目的で，10 分程度の半構造化インタビューを 8 名に実施した．インタビュー結果の分析では，インタビュー内容を切片化した後，キーワードを抽出し，さらにキーワードごとにグループ化する作業を行った．

3. 結果と考察

アンケート結果では，参加型スポーツイベント参加者の幸福感に対して，生活領域満足度の家庭 ($\beta = .24, p < .01$)，健康面 ($\beta = .18, p < .01$)，イベント満足度 ($\beta = .14, p < .01$) が影響を与えた．それらの関係性の根拠を得る目的で，インタビュー調査を実施した．結果からスポーツ関連要因と生活領域関連要因の二つの要因群

に分類し，さらに各要因群で三つの下位因子を特定した．図 1 は，要因間の関係性を示した概念図である．

一方，幸福感への影響を示さない要因については，イベントが一時的なものであるため，満足度は得られるが幸福感とまでは至らないという意見が，主な理由ではないかと考えられる．

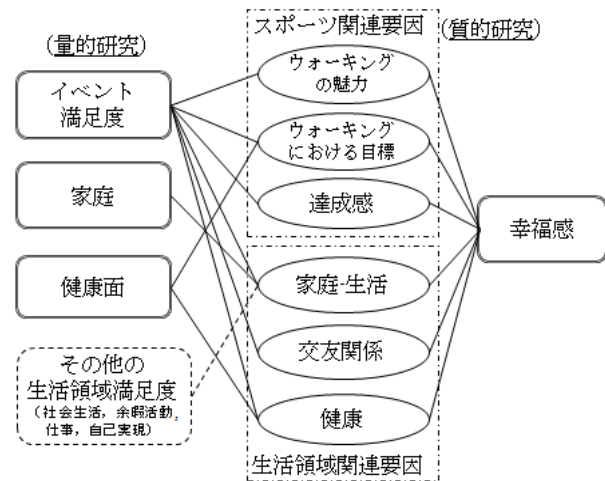


図 1, 各要因の関係性を示した概念図

4. 結論

本研究では，参加型スポーツイベント参加者の幸福感に対する，生活領域満足度とイベント満足度の関係性を明らかにした．本研究結果が，今後の参加型スポーツイベントを通じて人々の幸福感を向上させる施策に役立つこと，またスポーツが人生を豊かにするツールとして，一翼を担うことに期待したい．

引用・参考文献

Lyubomirsky, S., Lepper, H.S. (1999) A measure of subjective happiness: Preliminary reliability and construct validation. *Social Indicators Research*, 46, 137-155.